

## MBI 関西 活動報告

### ■2014 年の MBI 関西ワイン会



山内 真也(第 29 期)

関西では、今年はこれまで 1 月 25 日、2 月 15 日、3 月 29 日、4 月 24 日、6 月 14 日と 5 回ワイン会を行いました。

●1 月 25 日(金曜日)伏見桃山の木下邸にて 16 時からワイン会。その後若草山の山焼き見学 (4 名参加)。

「本日は山内さん、吉野さん、川勝さんと私の 4 人で、こじんまりとしたワイン会を拙宅で行いました。サントリー・ジャパンプレミアムのリースリング フォルテ 2012、小布施の無農薬のヴォルプチュー 赤 2011、ドメインドソガ、フランスラングドックのパロナーク 2004、シャトー・デュクリュー・ボーカイユ ー1997 の 4 本を順番に堪能しました。」(木下さんの FaceBook でのコメント)



若草山での山焼き前の花火

●2 月 15 日(金曜日)北浜キャラント・キャトルにて Lunch (10 名参加)。

「今日は親しい仲間と大阪・北浜のレストランでワイン会。参加メンバーが仏・独・伊・豪・日の思い思いのワインを持ち寄り、美味しい料理と一緒に堪能しました。

今日の昼食は北浜のキャラントキャトルと言うフレンチレストランで、ワイン大好き人間が 10 人集まって 10 本をあけました。それぞれが特色のあるワインで、メニューに応じて、十分楽しめました。ちなみに、シャンパンは Drappier. Alsace の Riesling Grand Cru、Mosel 1999、五一ワインの新酒 Rose、Gevry Chambertin 2003、オーストラリアの Wyndham Estate Pinot Noir 2011、Barolo 2008、Chateau CalonMontagne Saint Emilion 2005」(FaceBook での川勝さんのコメント)



●3月29日(金曜日)心齋橋湖月にて Lunch (4名参加)。

「今日のワイン、イタリアヴェネトのソアヴェ 2012、日本の城戸 2012、エシェゾーグランクリュ 2009、カロンセギュール 2006、それぞれ素晴らしいワインでした。」(FaceBookでの吉野さんコメント)



●4月24日(木曜日)京都 KIZANO にて Dinner (4名参加)。

ワインは仏ボルドー白 Larrivet Haut-Brion 2009、仏ボルドーのサン・ジュリアン赤 格付け第2級レオヴィル・ポワフェレ 2006、西リオハ赤 ヴァーナヴェロリアグランレゼルバ 1992、伊 Chianti Classico 赤 RUFFINO RISERVA DUCALE 2009 の4本でした。

●6月14日(金曜日)北浜キャラント・キャトルにて Lunch (7名参加)。



☆☆☆

■史跡めぐりハイキング報告  
【湖東三山ハイキング】  
(2014年5月31日)



井上 純(第23期)

<企画> 井上 純(第23期)

<参加者> 飯村夫妻・桑原夫妻・伴野夫妻・湯川さん・井上夫妻(9名)

<行程>

JR 琵琶湖線 河瀬駅集合→百済寺(ひゃくさいじ)→クレフィール湖東前→上蚊野古墳公園→金剛輪寺→西明寺→河瀬駅解散

<説明>

今回の湖東三山ハイキングは昨年暮れの忘年会のときに飯村さんからご提案があり、実行に移しました。目的は湖東三山の同時秘仏本尊御開帳に合わせて百済寺の十一面観世音菩薩、金剛輪寺の聖観世音菩薩、西明寺の薬師瑠璃光如来を拝観し、三山を結ぶ湖東三山遊歩道を散策するコースとしました。

全コースは9.5Kmの健脚向きハイキングコースですが、時間的余裕を考え一部バスを用いた、6Kmのコースを企画しました。

河瀬駅からはシャトルバスを利用して先ず、百済寺に向かいました。バス停から入り口まで緑の濃い山道を約40mほど登り、受付を済ませて喜見院の庭園を見学しながら更に、50mほど参道を登り本堂に到着。





百済寺(喜見院の庭園)

百済寺は、今から 1400 年前の推古 14 年(606)に、渡来人のために聖徳太子が創建された近江の最古刹です。渡来系の人々は、『百済』の発音として一度も『くだら』と呼んだことはなく『ハクサイ』と呼んでいたことから百済寺は創建当初以来「ひやくさい寺」と呼ばれていたとのこと。なお、百済が「くだら」と発音されるようになったのは、多分、白村江の戦(663 年)後に天智天皇が大量の百済人を近江に受入れて蒲生野が開かれ奈良時代が始まった頃からだと推定されるとのことでした。



百済寺にて

本堂よりバス停に戻る途中にモリアオガエルの卵が池のほとりにある木の枝についており、こうした自然の風景を楽しむことができました。

バス停からクレフィール湖東前までバスで移動し、そこから遊歩道を歩きながら昼食をとる予定の上蚊野古墳公園まで歩きました。当日は五月晴れとなったが、日差しが強く長距離を歩くには厳しい気温でした。古墳公園では木陰もあって、風通しも良かったのでゆっくりと食事も出来、休むことができました。昼食後は金剛輪寺まで田舎の集落の中の道をゆっくりと歩きました。



古墳公園での昼食

金剛輪寺は、奈良時代の中頃、天平 13 年(741)に聖武天皇の勅願で行基菩薩によって開山され、言い伝えによると行基菩薩が一刀三礼で観音さまを彫り進められたところ。木肌から一筋の血が流れ落ちたため、その時点で魂が宿ったとして、粗彫りのまま本尊としてお祀りされたとのこと。後の世に「生身(なまみ)の観音」と呼ばれるようになり、全国の観音信徒より篤い信仰を集めているとのこと。

平安時代の初めには、比叡山より慈覚大師が来山、天台密教の道場とされて以来、延暦寺の末寺、天台宗の大寺院となったとのこと。

このお寺も本堂までは参道を登って行かねばならず、95m ほど登って、やっと本堂に到着。参道の両側には風車を飾ったお地蔵様が千体ほど並べられ、その眺めは壮観でした。





金剛寺の本堂までの参道両側には風車を飾った  
お地蔵様が千体ほど並べられていた

聖観世音菩薩を拝観後、バス停まで下ったところで、予定より早めであったことと、皆さんが暑さに大分、参っていたこともあり、全員の賛同により、西明寺までの徒歩行程からバスによる移動に変更しました。

西明寺バス亭から再び54mほど参道を登ると本堂に到達します。参道に入ってすぐの、名神高速道路を跨ぐ陸橋のもとに有名な天然記念物の不断桜があります。樹齢250年以上の親桜と株分けした3本が滋賀県の文化財に指定されています。西明寺は湖東三山の一つに数えられる天台宗の寺で、平安時代、仁明天皇の勅願により三修上人が開山したと伝えられます。



西明寺 本堂

戦国時代には兵火のため荒れ果てていましたが、江戸時代中期に望月友閑によって再興されました。門をくぐると参道が続き、山坊跡の石垣が散在しており、平安、鎌倉、室町時代を通じて祈願・修行道場として栄えたことがうかがわれます。幸い兵火を免れ、飛騨の匠によって建立された本堂や三重塔や二天門が残されています。本堂は、鎌倉時代初期に建立された建造物で、釘を一本も使わない純和風建築。鎌倉の様式がよく保存され、国宝に指定されています。ここでは薬師瑠璃光如来を拝観することが出来ました。



三重塔

梅雨入り前の季節で天候を心配しましたが、幸い好天に恵まれ多少暑いなか、三山とも参道はかなり登らねばならず、疲労はありましたが、皆様楽しんで頂いたと思います。本当にご苦労様でした。また、少し涼しくなった秋にハイキングを企画したいと思います。



西明寺にて

☆☆☆